



地場産業 ひょうごのじばさん



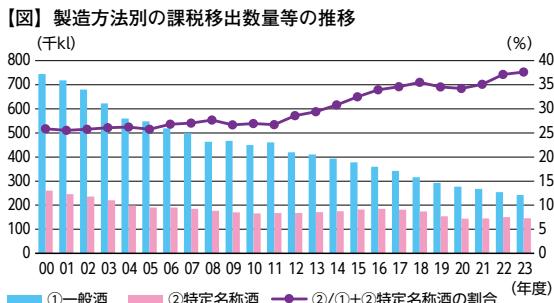
日本酒

灘五郷は一般酒の製造割合が高い

日本酒は国税庁の基準に準拠した「特定名称酒」（醸造アルコールの添加の有無、精米歩合などにより分類される）とそれ以外の「一般酒」に大きく分けられる。

日本酒の国内市場は、高齢化や人口減少に加え、消費者のライフスタイルの変化などにより、一般酒を中心に減少が続いている。一方、特定名称酒は、おいしいお酒を少しだけ飲むという嗜好の変化もあり、近年は概ね横ばいで推移し、日本酒全体に占める割合が約4割に高まっている。**図**。

灘五郷では、一般酒と特定名称酒の割合が8対2と一般酒の製造割合が高い**表**。京都の伏見も同様だが、リーズナブルな一般酒の多くを大手メーカーが製造していると考えられる。

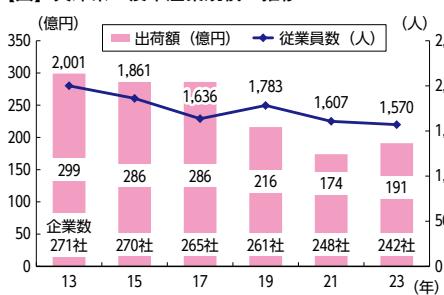


【表】製造方法別の製成数量 (2023酒造年度…2023年7月1日～2024年6月30日)

	製成数量 (20度換算、kL)					構成比 (%)		
	一般酒	特定名称酒	吟醸酒	純米酒	純米吟醸酒	本酿造酒	一般酒	特定名称酒
全国	171,466	133,108	15,904	46,047	50,865	20,292	56.3	43.7
兵庫県	64,679	16,423	2,403	8,668	2,538	2,814	79.8	20.2
灘五郷	47,386	12,626	1,782	6,359	1,840	2,645	79.0	21.0
その他	17,294	3,797	622	2,309	697	169	82.0	18.0
京都府	42,406	8,682	1,534	3,537	2,703	908	83.0	17.0
伏見	42,285	7,999	1,508	3,302	2,369	820	84.1	15.9
その他	121	684	26	235	334	89	15.0	85.1

資料：国税庁「清酒の製造状況等について」より作成

【図】兵庫県の皮革産業規模の推移



資料：兵庫県皮革産業協同組合連合会

兵庫県皮革産業協同組合連合会は、靴、かばん、財布等の材料として、兵庫県産の天然皮革を使つてもらえるよう、二

次製品を作る県内地場産業とのコラボレート製品の企画や、「東京レザーフェア」等の各種展示会への出展を通じて、付加価値の高い皮革製品づくりの後押しなどを普及に努めている。

皮革

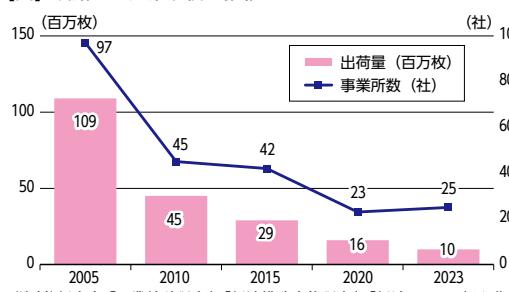
最近の業況と振興に向けた取り組み

兵庫県の皮革産業は、靴、かばんなど二次製品の素材となる「革」（二次製品）の製造が中心であり、二次製品の国内生産がタンナーと呼ばれる皮革製造業者の経営に大きく影響する。

ちなみに皮革産業（二次製品）における2023年の出荷額は191億円（2013年比▲108億円）、企業数は242社（同▲29社）、従業員数は1570人（同▲431人）と10年前と比べていざれも減少している**図**。

その要因として、東南アジアなどから輸入される廉価な革製品などに押され、二次製品の国内生産が減少していることが挙げられる。加えて原皮の加工に必要な原材料費（薬品代、光熱費など）が上昇しており、タンナーの経営を圧迫している。

【図】淡路瓦の産業規模の推移



(資料) 経産省:「工業統計調査」、「経済構造実態調査」、「経済センサス」より作成
※上記資料の品目項目の「瓦」について兵庫県の出荷量と事業所数を表示

光司選手（現淡路市出身）など著名人にによるサインやイラストを淡路瓦に転写したメッセージボードを同商議所会館前に設置した。淡路瓦の魅力が、この新たな観光スポットを通じて、広く発信されると期待したい。

淡路瓦

淡路瓦の魅力を発信

淡路瓦は400年以上の歴史をもつ建材である。その起源は、1610年に淡路の領主となつた池田忠雄が洲本市由良に成山城を築く際、播州から瓦職人の清水理兵衛を招き、城の瓦を焼かせたことに始まると言われている。現在、主に生産されている「いぶし瓦」は、銀色の炭素膜でコートイングされ、美しい光沢と高い耐久性を兼ね備えていることから、多くの建築物に使用してきた。瓦屋根から金属屋根やスレート（瓦）へ移行したことなどが考えられる。こうした中、洲本商工会議所は、地域活性化につなげようと阪神タイガースの近本だつたものが、23年には10百万枚と約9割減少、事業所数も97社から25社へ約7割減少した**図**。この要因として、一戸建て住宅様式の変化により、瓦屋根から金属屋根やスレート（瓦）へ移行したことなどが考えられる。こうした中、洲本商工会議所は、地域活性化につなげようと阪神タイガースの近本だつたものが、23年には10百万枚と約9割減少、事業所数も97社から25社へ約7割減少した**図**。この要因として、一戸建て住宅様式の変化により、瓦屋根から金属屋根やスレート（瓦）へ移行したことなどが考えられる。こうした中、洲本商工会議所は、地域活性化につなげようと阪神タイガースの近本